

在宅医療・介護連携推進事業における 評価指標とアンケート調査について

平成30年度第3回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会

つくば市の医療と介護のありたい姿 たたき台

平成30年度第2回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会の委員意見を参考に作成

1 在宅生活を高齢者が送るための包括的なサービスの提供とそのための医療介護の多職種連携体制の構築

(医師やケアマネなど、誰でも顔が見えて、腹を割って話せる関係づくりと関係者が共通の目標に向かって行く関係づくり。医療、介護、福祉に携わる人材育成の強化)

2 在宅生活を送る高齢者の看取りに向けた環境作り

(本人や家族の在宅医療への理解や多職種のACPの理解)

3 高齢者施設の利用や入所による在宅生活以外の選択肢の提供

(在宅生活の延長としての施設での生活、家族を助けるための施設利用)

4 医療介護関係多職種のスキルの向上によるマネジメント力の強化

(医療、介護、リハビリテーション、薬剤、ファシリテーション、コミュニケーションなどのスキル向上)

5 社会活動を行い、介護予防の対象となる高齢者に対する地域での支え合いと介護サービスの機能分化

(効果的なサービス提供とサービス機能の分化)

6 独居高齢者の見守りや認知症高齢者の早期対応による悪化の防止

(支援が必要な独居や認知症の高齢者への行政・事業者・地域による支援)

7 医療介護サービスにつながらない高齢者を見つけるためのコミュニケーションの強化

(医療介護サービスが必要な高齢者に対して、利用を進めるための地域内のコミュニケーション力の向上)

評価指標の種類と具体的な指標

平成30年度第2回つくば市在宅医療介護連携推進協議会資料再掲(一部修正)

アウトカム (成果指標)

年齢調整死亡率など、サービス提供の結果としての住民の健康状態や満足度等を測る指標

- ・在宅療養、介護を希望する地域住民の割合
- ・研修、住民向け普及啓発等の実施回数
- ・従事者満足度

プロセス (活動指標)

診療件数や多職種連携研修会の実施件数など、実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

- ・入院時情報連携加算件数
- ・退院退所加算件数
- ・在宅看取り数
- ・介護看取り加算件数
- ・訪問介護、訪問リハビリ、訪問入浴の実績回数
- ・多職種意見交換会の参加職種数
- ・訪問診療の実績回数
- ・訪問歯科の実績回数
- ・訪問薬剤指導実績回数
- ・訪問看護実績回数

ストラクチャー (構造指標)

医療施設数など、医療サービスを提供する物的資源、組織体制の充足度を測る指標

- ・在宅療養(歯科)支援診療所数
- ・訪問診療や往診を行う診療所・病院数
- ・訪問看護事業所、訪問看護師数
- ・居宅介護支援事業所数・ケアマネジャー数
- ・訪問介護、訪問リハビリ、訪問入浴の事業所数

地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況および先進事例等に関する調査研究事業報告書(野村総合研究所)を参考に作成

在宅医療・介護連携推進事業における 評価指標とアンケート調査について

- ・事業進捗確認及び事業の課題抽出のため、アンケート調査の実施が必要
- ・第8期高齢者福祉計画(2021年度－2023年度)を策定するうえで、基礎資料を得るためアンケート調査を2019年度(H31年)実施予定(高齢福祉課主担当)。調査の対象者が重複するため、在宅医療介護連携推進に関わることについて高齢福祉計画のアンケートに調査項目を追加。
 - ⇒資料1－2(市民) 資料1－3(CM)
- ・その他医師・歯科医師、訪問看護師に実施。28年度に実施していない薬剤師、リハビリ職に対しても業種別団体の総会等の機会を活用して調査したい。
 - ⇒資料1－3(医療関係者)

調査概要

1 対象地域 つくば市全域

2 調査対象者

対象	対象者数予定	調査方法
市民	約7,700	高齢者福祉計画アンケート
ケアマネジャー	約250	高齢者福祉計画アンケート
医療関係者 (医師、歯科医師、訪問看護師、 薬剤師、リハビリ職)	約800	各団体総会等にて配布・回収

3 調査期間 未定

協議事項

①評価指標の具体的な指標について

②アンケート調査の実施について

- ・アンケートの実施方法
- ・アンケート調査項目の内容確認